

校長だより(令和2年10月)

校長 吉井靖明

高等部の引越、および完成式典も終わり、やっとなと落ちて着いて学習に取組むことが
で、行事を通し、感染予防に努めたい。以下の方針の下、実施する予定です。
○修学旅行・宿泊学習…目的地を県内へと変更します。宿泊をとりやめ日帰りの行事とします。
○藤特祭…校内発表にとどめます。(一般公開・来賓なし)小中学部と高等部で別会場での開催とし、開会式・閉会式は実施しません。保護者2名までの参観とします。

○ 大沢前群馬県知事来校

9月1日、前群馬県知事であり本校設立を推進された大澤正明様が、高等部校舎の見学にお見えになりました。「コンパクトではあるが素晴らしい校舎が完成した。障がい者を支援し、頑張っている人たちの応援ができて良かった」としみじみと語りかけていらっしやいました。当日は、群馬県教育長や学校評議員でクレッシュエンド前会長の木村めぐみ様も駆けつけ、学校設立に関わる思い出の数々を懐かしそうにお話しされていました。創立当初の思いと苦労を後生までという思い新たにしました。



○ 生徒募集関連行事

来年度の生徒募集に関わり9月8日(火)に学校参観、9日(水)に高等部学校公開が開催され、それぞれ多数の参加者がありました。いずれも校長挨拶、職員からの学校説明のあと、校舎見学が行われました。参加者からは「短い時間でしたがわかりやすい説明でした。」「安心して預けることができそうです。」といった肯定的な感想をいただきました。また高等部については「設計がいろいろ配慮されている。」など新校舎に対する高評価の意見が寄せられました。今後も地域の方々からより信頼され、安心して子どもが預けられる学校づくりに努力していきます。

○ 教育実習終了

9月4日(金)~17日(木)の2週間にわたり小林香月さん(小1-1担当)、柳澤健斗さん(小6-1)、岩丸匠さん(小2-3・4-3担当)、下風博三さん(中3-1担当)の4名の教育実習生を受け入れました。初めは緊張した面持ちでしたが、子どもたちと積極的にふれあう中で信頼関係を築くことができました。現場でしか経験することのできない貴重な体験を通して多くの学びがありました。この経験を今後活かしてほしいと思います。そして将来教員になり、藤特に戻って来てくれるとうれしいです。



○ はじめての文化体験事業

9月18日(金)文化団体「ヨロコンデ」の岩淵健二さん、せきあつしさんの2名が来校し、多目的室で小学部を対象にユーマアタっぶりの紙芝居を披露していただきました。即興の歌とギター音色に子どもたちも自然と体を動かして楽しみました。この事業は子どもたちの文化を愛する心の育成と文化ボランティアの育成を目的に県が主催するもので、応募に当たって実現しました。



○ プレハブ校舎の解体進む

高等部校舎に伴い、9月1日からプレハブ校舎の解体作業が始まりました。このお便りがお手元に届く頃にはすっかり姿がなくなっているかもしれません。解体後の土地は藤岡市に返還されます。高等部の生徒たちにとっては思い出の詰まった校舎であり、解体されていく姿に「淋しい」との声が聞かれます。プレハブ校舎へ感謝しつつ、新しい校舎での活躍を期待します。